

質問回答

NO.	質問	回答
1	<p>仕様書「3.業務の内容（2）ザグの再生・保護のための住民参加型の計画作成支援（ii）事業後の牧民のザグに関する認識調査」について</p> <p>・「請負者はモンゴルに渡航し、調整及び支援を行う。」「現地調査並びに行政及び牧民への支援を実施する。具体的には（i）及び（ii）のとおり。」「（ii）「アンケート等による調査を行う。アンケートはバヤンホンゴル県ボグド郡において紙媒体で配布し、200名程度の回収を想定する。」とあります。ただしアンケートの配布から200名程度の回収まで、請負業者の渡航期間内（計15泊16日程度）に対応することは困難だと考えます。渡航期間中に配布～回収の段取りを調整し、実際の配布や回収はボグド郡等に依頼する等でも良いでしょうか？（回収は渡航期間より後になります。）</p>	<p>問題ありません。ただし、ボグド郡等依頼先との調整は、請負者自ら行っていただく必要がございます。</p>
2	<p>仕様書「3.業務の内容（3）ザグの再生・保護のための生理生態調査の実施」について。</p> <p>・「日本の有識者2名に依頼し実施する。」「調査期間は移動、（6）への出席も含め11泊12日程度（モンゴルにおける調査は8日程度、（6）への出席1日程度）を想定する。」「モンゴル国内はワゴン車での移動、ウランバートルからボグド郡間2往復程度を想定する。」とあります。有識者2名とも（6）へ出席すると考えて良いでしょうか？その場合、11泊12日程度の渡航では、調査、（6）への出席、移動も含めると、日数が足りないように考えられます。想定があればご教示ください。</p>	<p>（6）への出席については、有識者2名のうち1名以上を想定しております。実際の運用については、契約後に有識者を交えて適宜御調整ください。</p> <p>なお、行程については、2往復を想定しておりますが、渡航期間には制限があることから、万が一有識者2名が同時に（6）への出席を希望される場合には、調査日数確保のために、移動が1往復となる日程を組む等、適宜御調整いただけますと幸いです。</p>
3	<p>仕様書「3.業務の内容（3）ザグの再生・保護のための生理生態調査の実施」について。</p> <p>・もし（6）への出席が有識者2名のうち1名のみの場合、有識者が分かれて、調査、（6）への出席を行うこととなりますが、車両（ワゴン車）が2台必要となる可能性があります。なにか想定があればご教示ください。</p>	<p>（2）の調査を含めて請負者に1台分、（3）の調査のために有識者に1台分を想定しております。2台分を、現地での滞在期間中に適宜御調整いただくようお願いいたします。</p>
4	<p>仕様書「3.業務の内容（3）ザグの再生・保護のための生理生態調査の実施」について。</p> <p>・「（4）の会議等において結果等の情報提供を行うこと。」とあります。ただし調査を実施する有識者が（6）へ出席すること、（4）及び（6）についての対応が（2）の渡航期間となること（「参照1」参照）を踏まえると、（4）の会議は、この調査と連続して、または調査期間内の開催となるように考えられ、情報提供が困難かもしれません。ご想定があればご教示ください。</p>	<p>本仕様書内の各業務は、（6）のCOP17サイドイベント開催支援につながるよう、（2）、（3）、（4）及び（5）を同時期に実施する想定となっております。</p> <p>御指摘のとおり、（3）及び（4）は連続して実施される想定ですので、（4）の会議においては過去の事業についての情報提供、今後の実施予定の概要を中心とし、（3）の調査で得た結果については、簡易的な口頭補足で問題ありません。</p>
5	<p>仕様書「3.業務の内容（4）モンゴル関係者との会議の開催」について。</p> <p>・（2）の請負者のモンゴル渡航期間に対応（「参照1」参照）、また「モンゴル側の関係者全体との会議（対面及びオンラインのハイブリッド）を1回（3時間程度）開催する。」とあります。対面の会場（会議開催場所）の想定はウランバートルでしょうか？</p>	<p>会議開催場所の想定は、ウランバートルです。</p>
6	<p>仕様書「3.業務の内容（4）モンゴル関係者との会議の開催」について。</p> <p>・モンゴル側からの参加者に、「バヤンホンゴル県及びボグド郡の職員計5名程度、ザグの再生・保護に関連する活動を行う牧民2名程度（ウランバートル所在と考えられる省庁職員3名程度、有識者2名程度除く）」とありますが、ウランバートル開催の場合、この計7名程度は対面、またはオンラインのいずれでの参加を想定すれば良いでしょうか？対面参加の場合、この7名程度の旅費について想定をご教示ください。</p>	<p>会議参加者の参加方法は、参加者御自身に選んでいただくかたちを想定しております。なお、参加者の旅費の支給は、想定していません。</p>

7	<p>仕様書「3.業務の内容（4）モンゴル関係者との会議の開催」について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（i）会議の概要 参加者にモンゴル側12名程度（3名程度+5名程度+2名程度+2名程度）、日本側7名程度（オンラインを想定4名程度+対面を想定3名程度（請負者除く））とあり（計19名）、また「会場：50名程度」とあります。会場50名程度から仕様書掲載の参加者19名（オンラインを想定4名程度含む）を除く30名程度の参加者についてどのような参加者を想定されていますでしょうか？また広報等による30名程度の参加者確保等、手順についても想定があればご教示ください。 	<p>仕様書にございます「会場：50名程度」は、確保いただく会場の規模の目安であり、参加人数とは直接関係ありません。このため、追加の参加者の確保は不要です。</p>
8	<p>仕様書「3.業務の内容（5）CSTへの専門家の派遣」について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の派遣「旅程・滞在に係る準備、手配、開催中の旅程管理及び必要諸経費の支払い手続きを行う。」とあります。旅程に係る準備、手配において、日本からモンゴルまでの航空便にビジネスクラス等、等級の指定はありますでしょうか？ 	<p>航空便の座席等級について、特に指定はございません。</p>
9	<p>仕様書「3.業務の内容（6）COP17サイドイベント開催支援」について。</p> <p>①サイドイベントの開催及び記録作成</p> <p>②チラシ等の作成・輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①「講演者：日本から有識者3名程度（大学教授級）の参加を想定、ただし旅費の支給は有識者1名（4泊5日程度想定）のみとし、残り2名の旅費は（3）または（5）において支給するため、不要とする。」とあります。残り2名について、（3）の有識者2名、（5）の専門家1名（「参照2」参照）のうちの2名想定と考えます。（5）の専門家はCSTの開催期間を踏まえた派遣となっていますが（7泊8日程度）、もしサイドイベントがCOP17開催期間だが、CST開催期間内とならず派遣期間内にならない場合、（3）の有識者2名が該当することになると考えれば良いでしょうか？ 	<p>サイドイベントの日程及び登壇者の詳細は未定であり、発注後の協議により決定します。</p> <p>御指摘のとおり、CST開催期間とサイドイベント日程が合わない場合には、（5）に該当する有識者の登壇は困難となるため、（3）の有識者2名より1～2名の登壇者を選択する方向で検討いたします。</p>
10	<p>仕様書「3.業務の内容（6）COP17サイドイベント開催支援」について。</p> <p>①サイドイベントの開催及び記録作成</p> <p>②チラシ等の作成・輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①「モンゴルのバヤンホンゴル県ボグド郡からの出席者2名程度については、旅費法等に準じて旅費（2泊3日程度を想定）及び謝金を支給する。ボグド郡からウランバートルへの移動に際しては必要に応じて（2）において請負者が使用するレンタカーに同乗する。」、②「サイドイベント用広報チラシ（当日プログラム等）について、サイドイベント前日までに現地に到着するよう作成・輸送し、これを受け取る。」とあります。チラシの受け取り、他サイドイベントの準備等を考えると、ボグド郡からの出席者の2泊3日では収まらない可能性があります。あくまで「必要に応じて」とありますし、サイドイベント関連を優先し、請負者が使用するレンタカーへの同乗が難しい場合は旅費法等に準じた旅費支給で良いでしょうか？ 	<p>優先順位は、サイドイベントが上位となるため、レンタカーへの同乗については、必要に応じて御検討ください。</p>
11	<p>仕様書「3.業務の内容（6）COP17サイドイベント開催支援」について。</p> <p>①サイドイベントの開催及び記録作成</p> <p>②チラシ等の作成・輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①「通訳 英モ逐次通訳を手配する。」とあります。サイドイベントでの講演者資料がある場合、英語版とモンゴル語版の準備が必要でしょうか？ 	<p>今回のサイドイベントにおいては、資料の配布を想定していないため、準備は不要です。</p>